



## 部員同士の絆を深めた 特産青大豆の「豆チリライス」開発 村田町商工会女性部(宮城県)



村田町商工会女性部の部員

村田町は、杜の都・仙台の隣町、宮城県の南部にあり、江戸時代には水運を活かした紅花の集積地として栄えました。風情豊かな蔵のまち並みが、2014年に重要伝統的建造物群保存地区に選定され、みちのく宮城の小京都として知られています。

村田町商工会女性部は、2007年の全国展開支援事業

を発端に、地域の特産品を活かした商品開発事業に継続的に取り組んでおり、年間30万人が集う国際公認サーキット場「スポーツランドSUGO」の来場者に向けて、開発した商品を提供しています。

若い客層に喜ばれる商品にするにはどの特産品を使用するのがいいのか、会議を重ねた結果、青大豆をたっぷり使ったチリコンカン「豆チリ」を開発することとなり、現在の形になるまで何度も試行錯誤を重ねました。水をいっさい加えず、ヘルシーながら、ピリっと後をひくおいしさ。これが私たちの「豆チリライス」です。開発当時は、なかなか売れず苦労しましたが、女性部ならではのこだわりと愛情たっぷりの味で販売を続けたところ、毎年少しずつ

商工会女性部はまちに  
元気と安心をお届けしています。

はちみつ通信

つ売り上げが伸び、300食を提供できるようになりました。利益も出せるようになり、女性部の貴重な活動資源となっています。

現在はSUGOでのレースだけではなく、親会である商工会や商店会、町からの要請もあって、さまざまなイベントに協力。昨年からは地場産品を使ったメニューとして学校給食に採用されるまでになり、世代を問わず、地域に定着しつつあります。

私たちは、今の状態に満足することなく、事業ごとに毎回アイデアを出し合っています。この事業を行うことで、

部員同士の関わりも深まり、部員数も増加させることができました。今後は、新たに発酵料理にチャレンジ！ また、試行錯誤しながら活動していきたいと思っています。



上/考案した「豆チリライス」  
下/レースイベントでの販売風景



## 旧街道の懐かしい景色が残る 「尾西」でおもてなし 尾西商工会女性部(愛知県)

愛知県一宮市の旧尾西地区は濃尾平野の北西に位置し、旧美濃路街道の「起宿」があり賑わっていました。木曾川を渡るためにたくさんの人々が宿泊し、大名行列の一行も滞在したそうです。木曾川を利用して上流からは炭・木材・まきなど、下流からは食料・雑貨・瀬戸物などが荷揚げされ、これらを扱う問屋が渡船場のまわりにたくさんありました。今でも宿場まちの面影を残す、いくつかの史跡があります。

尾西商工会女性部は、この懐かしい景色が残る尾西を紹介するため「おもてなし交流

事業」を始めました。以前、女性部員のレクリエーションでこの旧美濃路街道の秋の紅葉を楽しむウォーキングを実施したときに、木曾川の穏やかな流れと、史跡を

ゆっくり見て歩くことがとても好評でした。そして昨年、おもてなしの体験会を実施して尾西のおもてなしプランについて話し合い、宿場まちの風情と、グルメ、地場産業の織維製品「尾州ウール」にも触れていただき、尾西の魅力を伝えていきたいと考えました。「おもてなし交流事業」を始めたばかりで受け入れはまだありませんが、地域の魅力を活かしていきたいと思しますので、ぜひお越しください。お待ちしております。



起渡船場跡の石碑

### はちみつ通信ぶらす

女性部の皆様へ

全女性連公式ホームページに動画や写真を掲載しませんか？

全国に向けて発信したい情報などございましたら全女性連事務局まで。✉ [zen-jo@shokokai.or.jp](mailto:zen-jo@shokokai.or.jp)



全女性連公式HPはこちら▶

URL

<http://women.shokokai.or.jp>



起渡船場近くの「旧湊屋文右衛門邸」にて、尾西商工会女性部員